

Starter Pack DVDからのファームウェアアップデート手順

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書では、Starter Packからのファームウェアアップデートに関して補足いたします。本バージョンのStarter Packにおいて、OS上ではなく、Starter Pack DVDから直接ファームウェアをアップデートする場合、次の手順に従ってください。

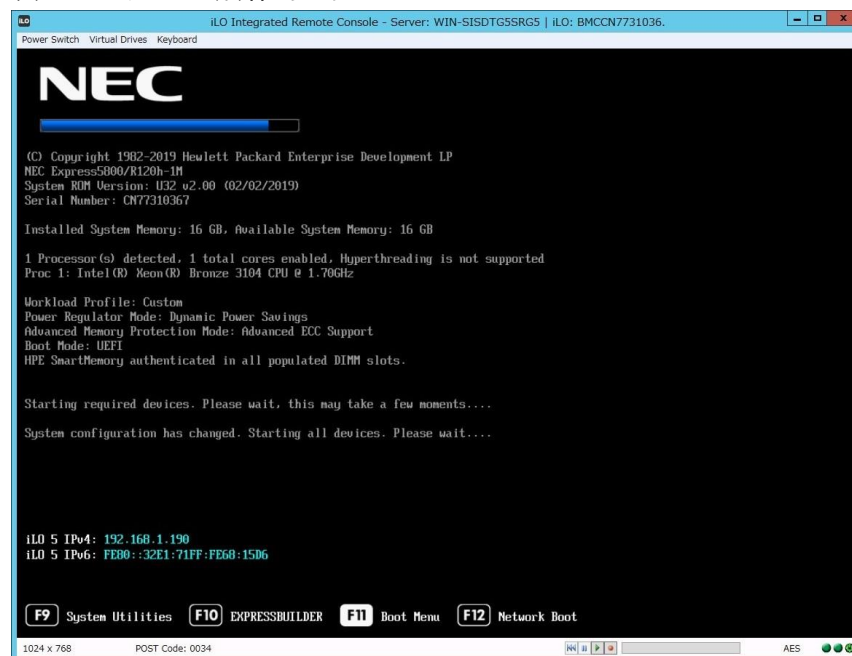
- (1) 対象サーバーでセキュアブート設定が有効になっているときは、いったん無効にします。

システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security」の「Secure Boot Settings」で設定してください。

- (2) Windows(R) BitLocker(TM)機能を有効にしている場合、一旦無効にしてから本手順を実行してください。アップデートが完了した後、再度有効にしてください。無効にせずアップデートした場合、装置の起動時に「回復パスワード」が必要になることがあります。

- (3) 対象サーバーにStarter Pack DVDをセットし、電源をOFF、ONするか、または<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーで再起動します。

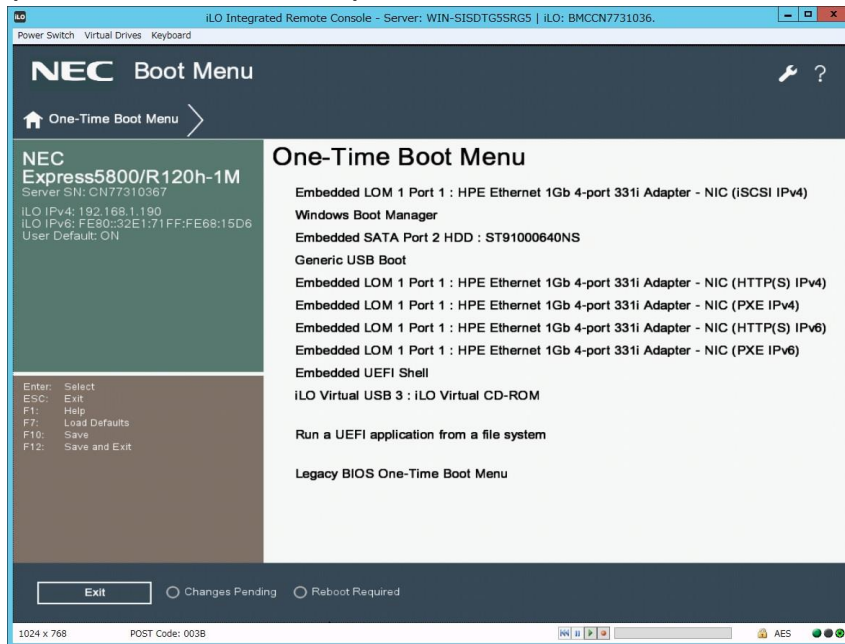
次のように、POSTが始まります。



(4) POST実行中に<F11>キーを押します。

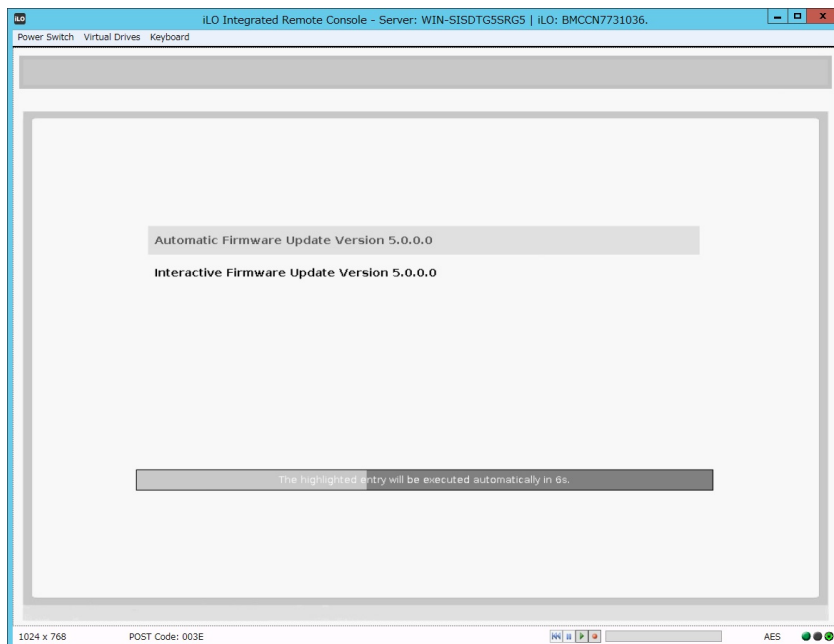
次のように、Boot Menuが表示されます。

(環境によって表示が変わります)



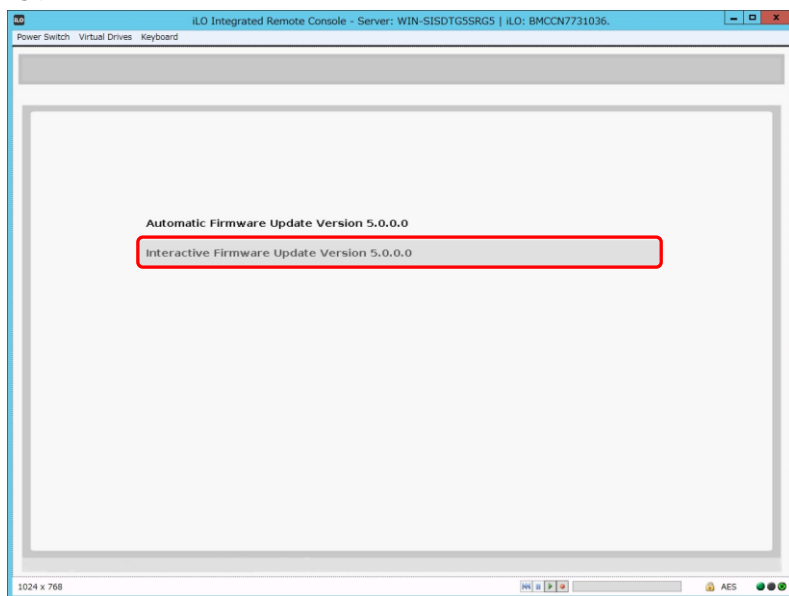
(5) One-Time Boot Menuから(2)でセットしたDVDドライブを選択すると、

Starter Pack DVDが起動し、次の画面が表示されます。

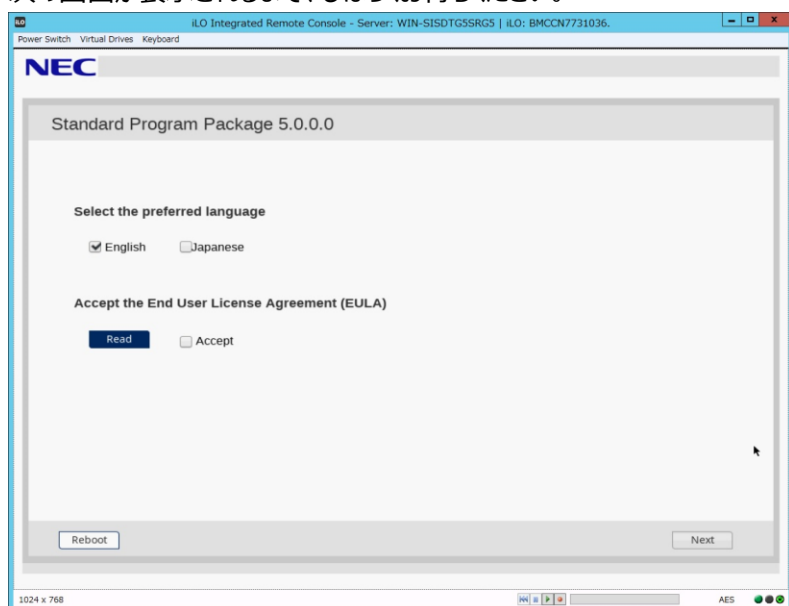


(6) メニューの「Interactive Firmware Update」をカーソルキーで選択してから<Enter>キーを押します。

- 10秒以内に選択操作をしない場合、一定時間経過後に「Automatic Firmware Update」が選択され、自動的にアップデートが実行されますので、ご注意ください。
- Express5800/R110j-1をご使用のお客様で、システムROMv2.00(05/15/2019)が適用されていた場合は、必ず「Interactive Firmware Update」を選択してください。

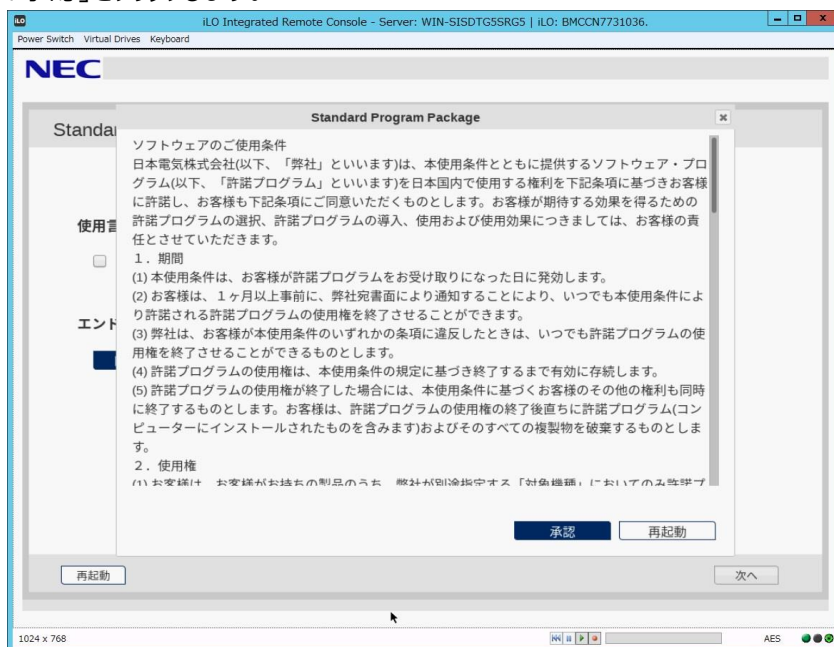


次の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

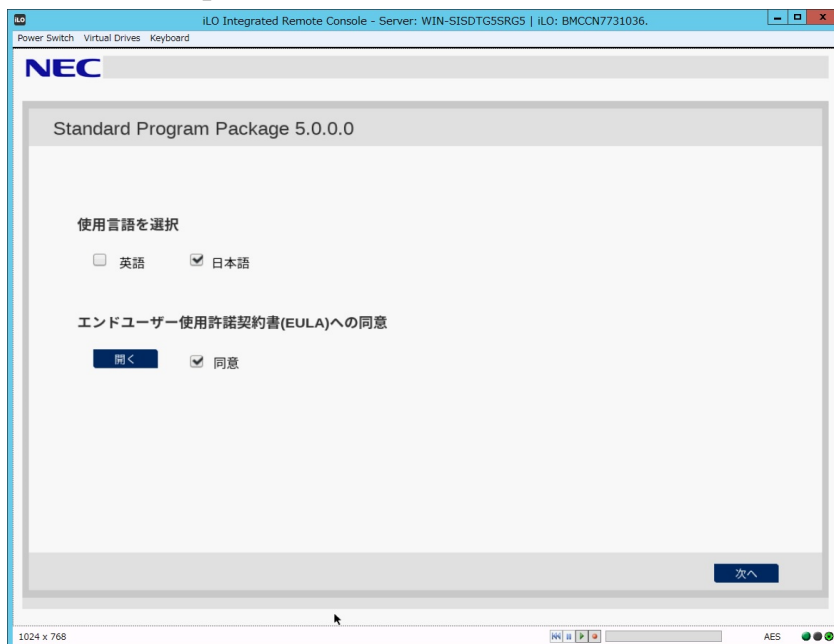


(7) 「Select the preferred language」で「Japanese」を選択します。

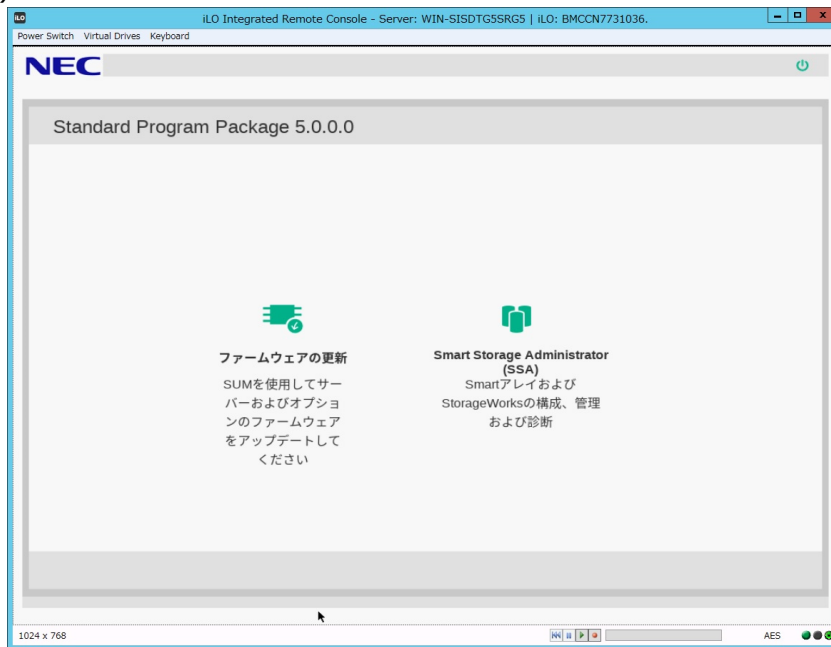
(8) 「エンドユーザー使用許諾契約書(EULA)への同意」で「開く」をクリックし、内容を確認して「承認」をクリックします。



(9) 画面右下の「次へ」をクリックします。



(10)「ファームウェアの更新」を選択します。



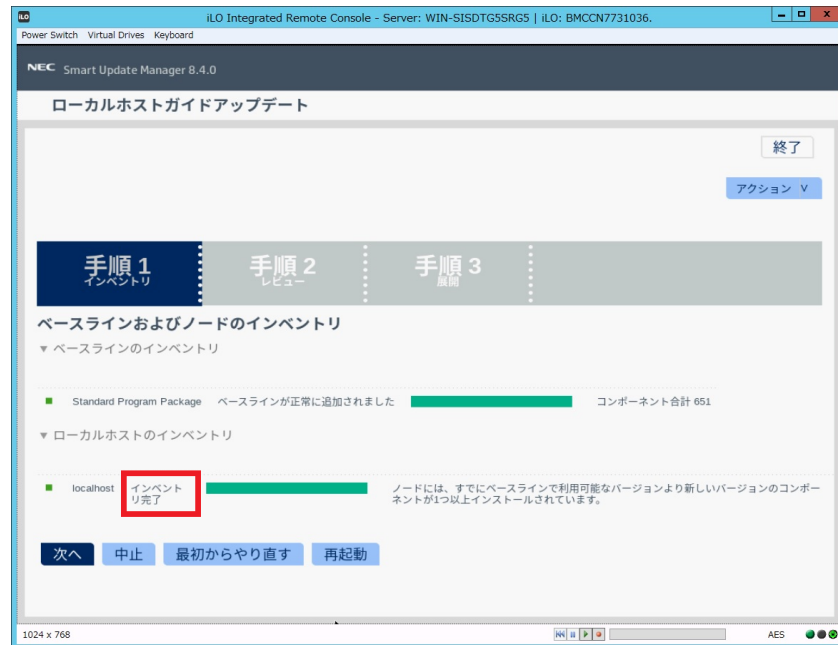
起動時にエラーが起きた場合、「トラブルシューティング」を参照して先に進めてください。

「ローカルホストガイドアップデート」の選択画面が表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」が選択されていることを確認し、そのまま「OK」を選択します。（ここではiLOインストールキューを選択しないでください。）



「ローカルホストガイドアップデート」画面が表示され、「手順 1 インベントリ」が始まります。

以下の「インベントリ完了」が表示されるまで、しばらくお待ちください。



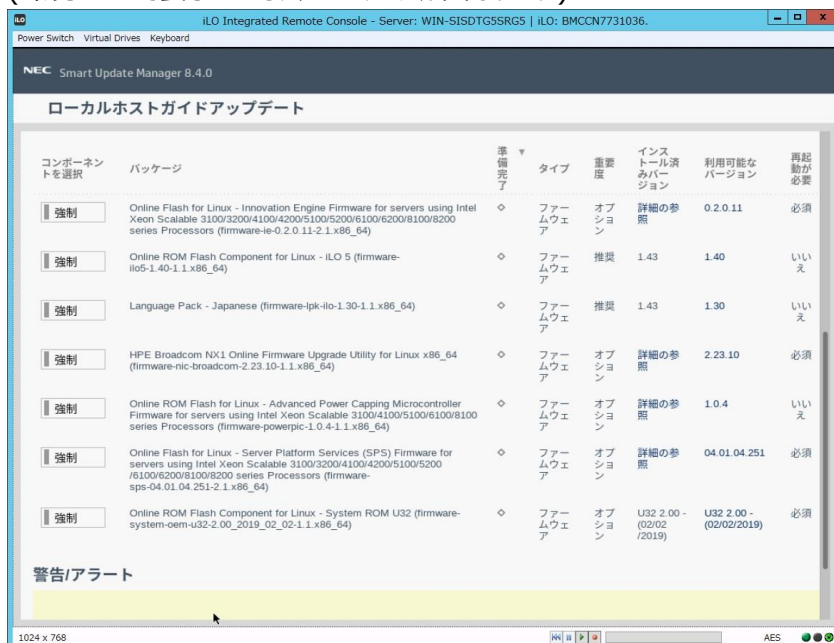
画面左下の「次へ」をクリックします。

(11)「手順2 レビュー」が表示されます。



次のように、ファームウェアの一覧が表示されます。

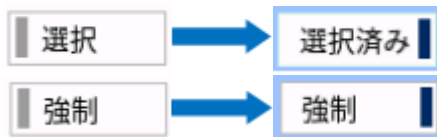
(環境によって表示されるファームウェアが異なります)



左のバーが青いファームウェアは、手順(12)でインストールを試みます。

(12) ファームウェア一覧から「Online ROM Flash Component for Linux - iLO5」、「Language Pack - Japanese」を探し、「コンポーネントを選択」の状態を確認します。

「選択済み」でない場合は、左側の「選択」または「強制（灰色）」をクリックし、「選択済み」または「強制（青色）」に変更してください。

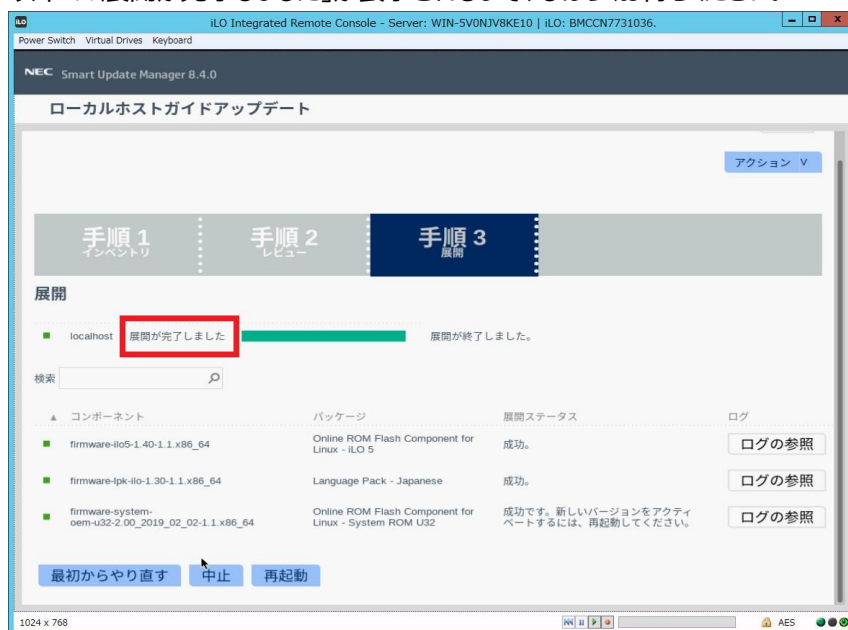


この手順において、「Online ROM Flash Component for Linux - iLO5」、「Language Pack - Japanese」以外のファームウェアの選択状態は変更しないようにしてください。

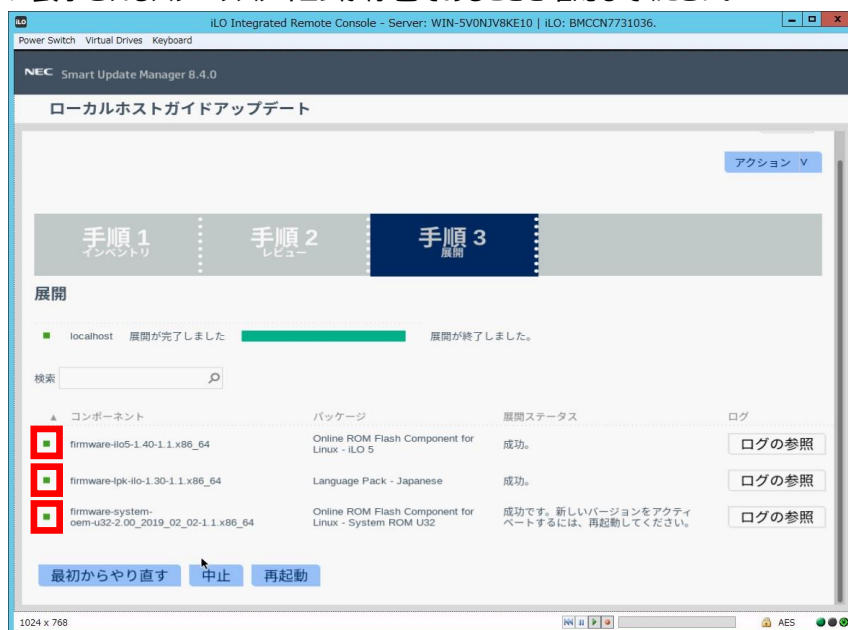
※ファームウェアをダウングレードする場合には、手動で「選択済み」または「強制」に設定してください。

(13) ウィンドウ下部の「展開」をクリックすると「手順3 展開」が始まります。

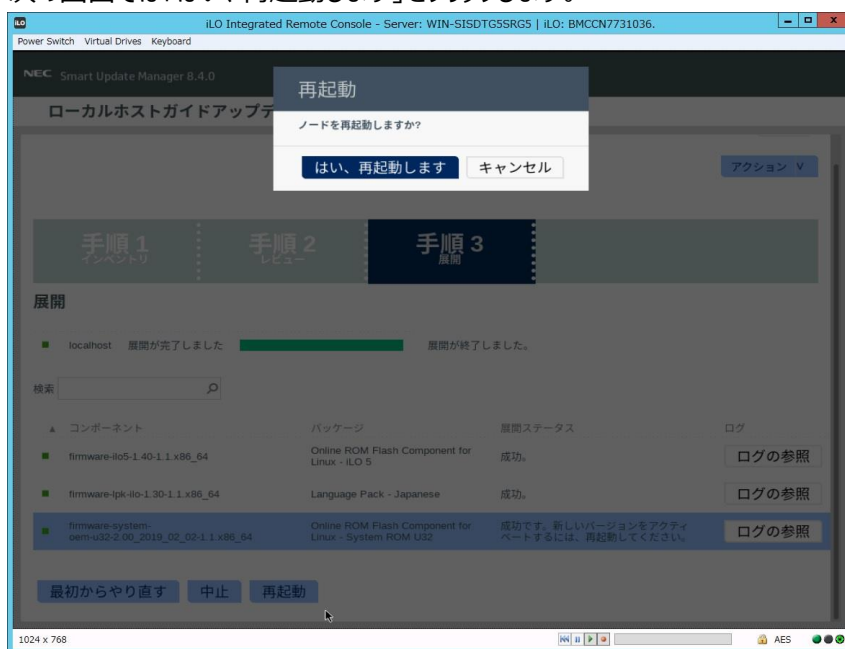
以下の「展開が完了しました」が表示されるまで、しばらくお待ちください。



(14) ファームウェアのアップデートに成功したことを確認します。次のように、コンポーネント名の左側に表示されるステータスアイコンが緑色であることを確認してください。



- (15) Starter Pack DVDをDVDドライブから取り出し、画面左下の「再起動」をクリックします。
次の画面では「はい、再起動します」をクリックします。



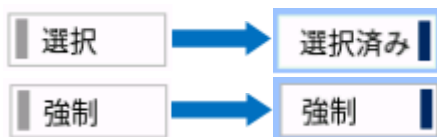
- (16) 再起動して、POST(Power on Self Test)が終了した後、システムROMが最新バージョンに更新されている場合は、(17)～(21)の手順は不要です。(22)へ進んでください。
最新バージョンの確認は、Starter Packを公開しているWebページの「リリースノート」-「システムROM関連」にある対象装置のリリースノートを参照ください。
装置のシステムROMバージョンは、以下の手順で確認してください。
- (i). iLOのWebインターフェースにログインします。
 - (ii). 「情報」-「概要」-「サーバー」の[システムROM]の項目を確認します。
- または、
- (i). System Utilities を起動します。
 - (ii). System Information > Summary > System ROMの項目を確認します。

(17) 再度、手順(3) ～ (11) を実施して「手順2 レビュー」の画面に進みます。



(18) ファームウェア一覧から「Online ROM Flash Component for Linux - System ROM Uxx」を探し、「コンポーネントを選択」の状態を確認します。

「選択済み」でない場合は、左側の「選択」または「強制（灰色）」をクリックし、「選択済み」または「強制（青色）」に変更してください。



この手順において、「Online ROM Flash Component for Linux - System ROM Uxx」以外のファームウェアの選択状態は変更しないようにしてください。

※ 「ダウングレード手順書」等に従い、ファームウェアをダウングレードするときは、同様に、手動で「選択済み」または「強制」に設定してください。

(19) ウィンドウ下部の「展開」をクリックすると「手順3 展開」が始まります。

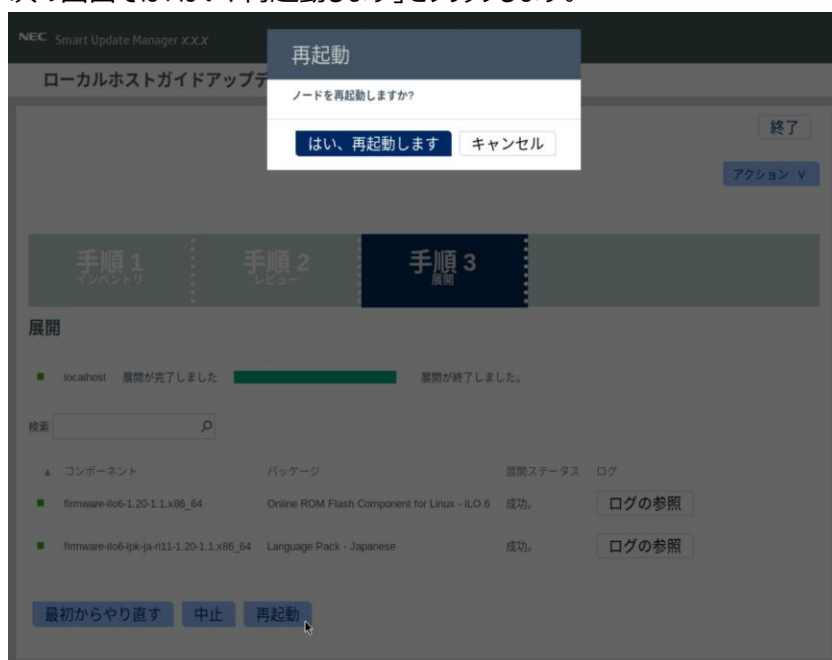
以下の「展開が完了しました」が表示されるまで、しばらくお待ちください。



(20) ファームウェアのアップデートに成功したことを確認します。次のように、コンポーネント名の左側に表示されるステータスアイコンが緑色であることを確認してください。



- (21) Starter Pack DVDをDVDドライブから取り出し、画面左下の「再起動」をクリックします。
次の画面では「はい、再起動します」をクリックします。



- (22) 手順(1)でセキュアブート設定を無効にした場合、同様の手順で有効へ戻します。
(23) 手順(2)でBitLocker(TM)機能を無効にした場合、同様の手順で有効へ戻します。

以上で、ファームウェアアップデートは完了です。

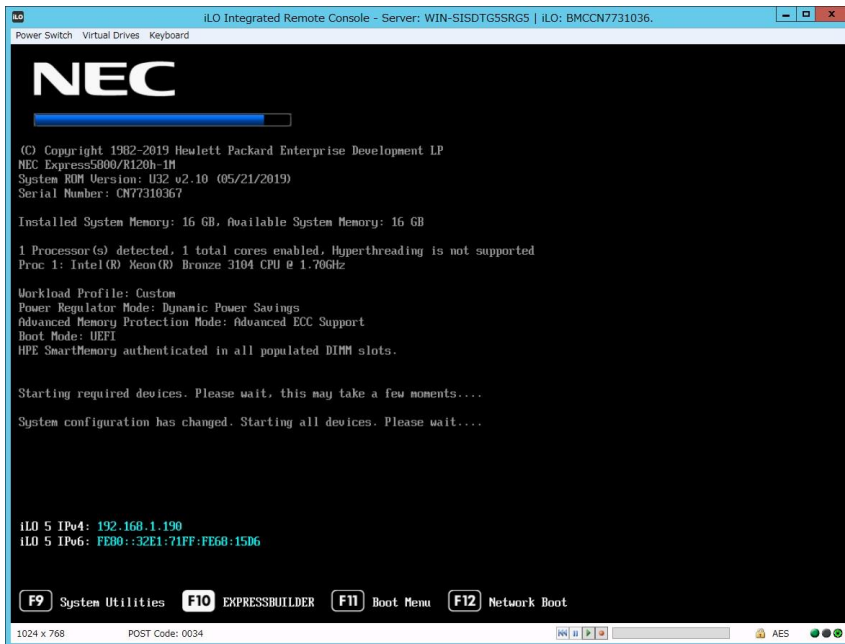
内蔵DVD-ROM ドライブ[N8151-137], 内蔵DVD-Super MULTIドライブ[N8151-138]を使用時、アップデート後、Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せない場合があります。このとき、トラブルシューティングの「1. Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せなくなった場合」を参照してDVDを取り出してください。

トラブルシューティング

1. Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せなくなった場合

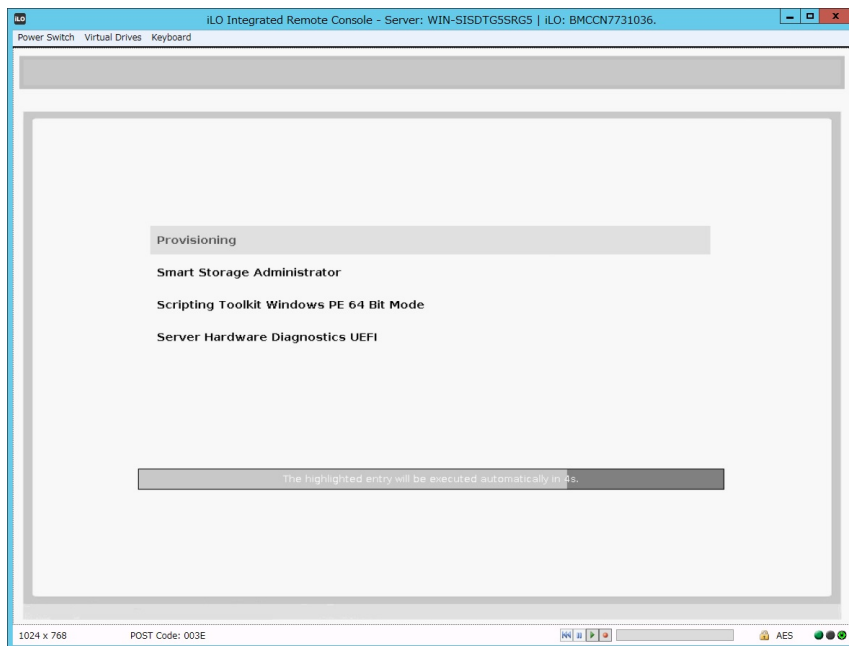
アップデート後にサーバーを再起動して、Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せなくなった場合、以下の手順に従って取り出してください。

- (1) 電源をOFF、ONするか、または<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーで再起動します。
次のように、POSTが始まります。



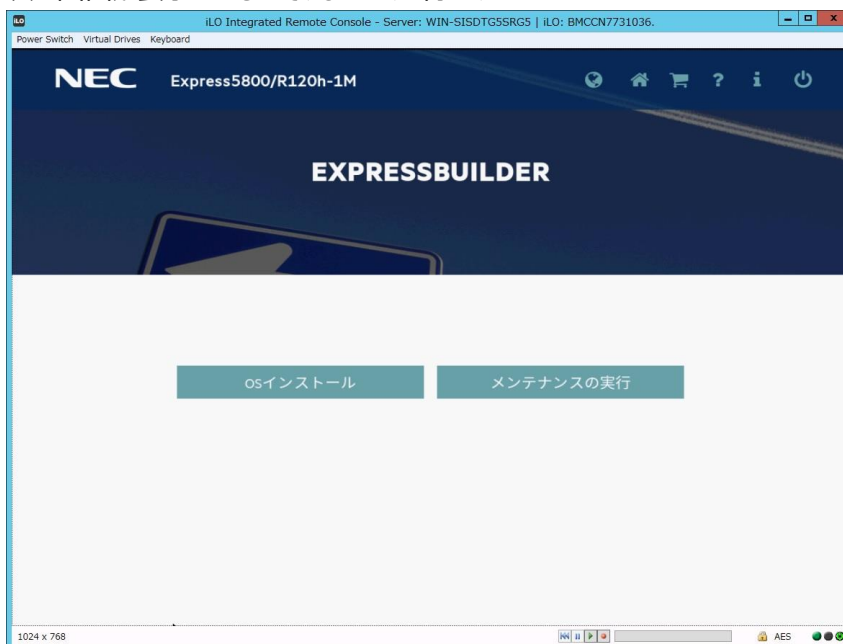
(2) POST画面で<F10>キーを押します。

次の画面が表示されます。



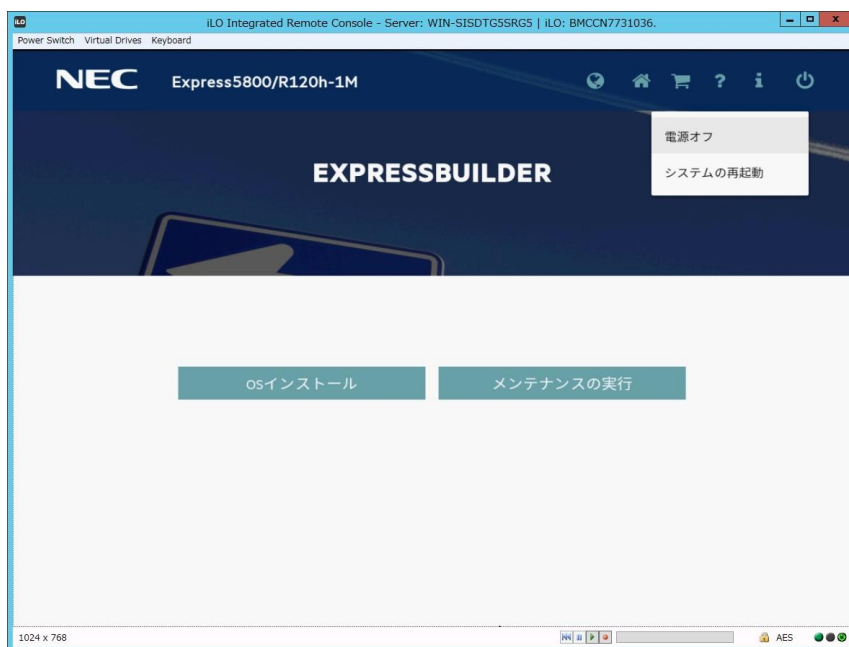
(3) メニューの「Provisioning」を選択します。何もキーを押さない場合、自動的に「Provisioning」が選択されます。

次の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。



(4) EXPRESSBUILDER起動後、DVDドライブのイジェクトボタンを押して、Starter Pack DVDを取り出します。

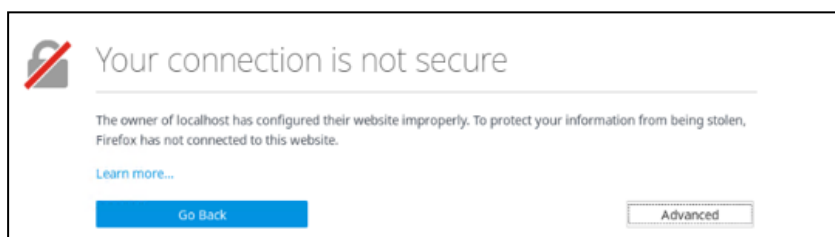
(5) 右上の電源アイコンをクリックして「電源オフ」、または「システムの再起動」を選択します。



以上で作業は終了です。

2. 「Your connection is not secure」エラーが出てストップした場合

以下のエラーが起きて先に進めなくなった場合、以下の手順に従って進めてください。



(1) 画面上の「Advanced」をクリックします。

(2) 画面上の「Add Exception...」をクリックします。

(3) ポップアップした「Add Security Exception」画面で、「Confirm Security Exception」をクリックします。

以上で作業は終了です。